2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	マクロ経済学 (Macroeconomics)		
ナンバリングコード	E20401	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 経済学
単位数	4	配当学年 / 開講期	2 / 前期・後期
必修・選択区分	選択必修:全コース(2017年度以降)、経営経済学部(2016年度) コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース		
授業コード	E005751	クラス名	
担当教員名	板倉　理友		
履修上の注意、 履修条件	経済学入門、ミクロ経済学を履修していることが望ましい。 出席は毎回取ります。私語は慎んでください。		
教科書	プリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	必要な都度指示します。		
関連科目	ミクロ経済学、経済学入門、経済分析		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①国内総生産とは何かを説明できる。		10点	
【知識・理解】	②政府の行う経済政策の効果について説明できる。 ③経済成長とは何か、どうすれば成長できるのか説明できる。	40点		
【技能・表現・ コミュニケーション】	④市場の均衡について説明できる。			10点
【思考・判断・創造】	⑤政府が実際に実施している政策についてコメントできるようになる。	40点		

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足
6割以上到達できれば合格です。 レポートを課すので、期日までに提出をしてください。 確認テスト・ミニテストに真面目に取り組んでいるかどうかでも評価します。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	本講義では、マクロ経済学の基礎的な知識の習得に努めるものとします。最初に、マクロ経済学とはどういう学問かを、我々の生活の中での経済活動と関連付けながら容易に全体像が把握できるようにします。次に、一国全体の経済の仕組みはどうなっているのか、国民所得とは何か、その所得水準はどのように決定されるのか、資産と所得の関係はどうか、インフレーションや失業の発生原因は何か、景気循環や経済成長はどのように生じるのか等々を学ぶことによって、マクロ的な経済現象の理解を深めることにします。	
授業の概要	マクロ経済とは何か、なぜ学ぶ必要があるのか、一国経済の消費、投資はどうなっているのか、市場の均衡とは何か、国民経済の運営は政府によってどのようになされているのか、また外国との関係はどのようになっているのが経済的によいのか等々について、学んでいきます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当しない」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 : マクロ経済学 (Macroeconomics) 担当教員: 板倉　理友	授業コード:E005751

学修内容

1. GDPとは何か 国内総生産、三面等価の原則、活動水準をどう捉えるのかについて学びます。		
予習: GDPの概念、三面等価の原則とは何かについて予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(GDPの概念、三面等価の原則)及び確認テストについて復習する。		(約2.0h)
2. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: GDPの概念、三面等価の原則とは何かについて予習する。		(約2.0h)
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		(約2.0h)
3.　消費と貯蓄の理論 ケインズ型の消費関数、ライフサイクル仮説、恒常所得仮説等について学びます。		
予習: 消費関数、消費に関しての前提について予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(消費関数、消費に関しての前提)及び確認テストを復習する。		(約2.0h)
4. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: 消費関数、消費に関しての前提について予習する。		(約2.0h)
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		(約2.0h)
5. 投資理論 投資の決定要因、資本の限界生産性と資本の使用者費用等について学びます。		
予習: 投資の決定要因、生産性と費用について予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(投資の決定要因、生産性と費用)及び確認テストを復習する。		(約2.0h)
6. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: 投資の決定要因、生産性と費用について予習する。		(約2.0h)
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		(約2.0h)
7. 投資理論2 新古典派の投資理論、投資の不可逆性等について学びます。		
予習: 新古典派の投資理論について予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(新古典派の投資理論)及び確認テストを復習する。		(約2.0h)
8. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: 新古典派の投資理論について予習する。		(約2.0h)
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		(約2.0h)

○授業計画	科 目 名 : マクロ経済学 (Macroeconomics) 担当教員: 板倉　理友	授業コード:E005751

学修内容

9. 金融と株価 企業の資金調達手段、家計の資産選択、株価の決定理論等について学びます。		
予習: 資金調達方法、株価決定理論について予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(資金調達方法、株価決定理論)及び確認テストを復習する。		(約2.0h)
10. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: 資金調達方法、株価決定理論について予習する。		(約2.0h)
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		(約2.0h)
11. 貨幣の需要と供給 貨幣の3つの機能、貨幣の概念、貨幣の需要動機等について学びます。		
予習: 貨幣の概念、貨幣需要動機について予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(貨幣の概念、貨幣需要動機)及び確認テストを復習する。		(約2.0h)
12. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: 貨幣の概念、貨幣需要動機について予習する。		(約2.0h)
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		(約2.0h)
13. 乗数理論とIS-LM分析 有効需要の原理、乗数理論等について学びます。		
予習: 乗数理論、IS-LM理論について予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(乗数理論、IS-LM理論)及び確認テストを復習する。		(約2.0h)
14. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: 乗数理論、IS-LM理論について予習する。		(約2.0h)
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		(約2.0h)
15. 乗数理論とIS-LM分析2 インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ、IS曲線とLM曲線等について学びます		
予習: インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップ、IS-LM理論について予習する。		(約2.0h)
復習: 配布したプリント内容(インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップ、IS-LM理論)及び確認テストを復習する。		(約2.0h)
16. ミニテスト及び解答の確認・説明 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。		
予習: インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップ、IS-LM理論について予習する。		
復習: ミニテスト及び解答について復習する。		

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 : マクロ経済学 (Macroeconomics) 担当教員: 板倉　理友	授業コード:E005751

学修内容

17. 経済政策の必要性
景気循環と経済政策、数量調整対価格調整、金融政策の有効性等について学びます。

予習:	景気循環と経済政策の対応性、金融政策の有効性について予習する。	(約2.0h)
復習:	配布したプリント内容(景気循環と経済政策の対応性、金融政策の有効性)及び確認テストを復習する。	(約2.0h)

18. ミニテスト及び解答の確認・説明
前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。

予習:	景気循環と経済政策の対応性、金融政策の有効性について予習する。	(約2.0h)
復習:	ミニテスト及び解答について復習する。	(約2.0h)

19. 財政赤字と国債
政府支出拡大の便益、クラウディング・アウト、ビルトイン・スタビライザー等について学びます。

予習:	政府支出拡大の効果、クラウディング・アウトについて予習する。	(約2.0h)
復習:	配布したプリント内容(政府支出拡大の効果、クラウディング・アウト)及び確認テストを復習する。	(約2.0h)

20. ミニテスト及び解答の確認・説明
前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。

予習:	政府支出拡大の効果、クラウディング・アウトについて予習する。	(約2.0h)
復習:	ミニテスト及び解答について復習する。	(約2.0h)

21. 財政赤字と国債2
政府の予算制約、国債の役割の問題点、国債の中立命題等について学びます。

予習:	政府予算制約、国債について予習する。	(約2.0h)
復習:	配布したプリント内容(政府予算制約、国債)及び確認テストを復習する。	(約2.0h)

22. ミニテスト及び解答の確認・説明
前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。

予習:	政府予算制約、国債について予習する。	(約2.0h)
復習:	ミニテスト及び解答について復習する。	(約2.0h)

23. インフレとデフレ
ディマンドプル・インフレ、コストプッシュ・インフレ、予想されないインフレのコスト等について学びます。

予習:	インフレとデフレの種類について予習する。	(約2.0h)
復習:	配布したプリント内容(インフレとデフレの種類)及び確認テストを復習する。	(約2.0h)

24. ミニテスト及び解答の確認・説明
前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。

予習:	インフレとデフレの種類について予習する。	(約2.0h)
復習:	ミニテスト及び解答について復習する。	(約2.0h)

○授業計画	科 目 名 : マクロ経済学 (Macroeconomics) 担当教員: 板倉　理友	授業コード:E005751

学修内容

25. 失業
古典派の雇用理論、賃金の硬直性と非自発的失業、フィリップス曲線等について学びます。

予習:	古典派の失業理論、賃金の硬直性について予習する。	(約2.0h)
復習:	配布したプリント内容(古典派の失業理論、賃金の硬直性)及び確認テストを復習する。	(約2.0h)

26. ミニテスト及び解答の確認・説明
前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。

予習:	古典派の失業理論、賃金の硬直性について予習する。	(約2.0h)
復習:	ミニテスト及び解答について復習する。	(約2.0h)

27. 経済成長論
経済成長とは何か、経済成長理論、経済成長の源泉等について学びます。

予習:	経済成長理論の種類・源泉について予習する。	(約2.0h)
復習:	配布したプリント内容(経済成長理論の種類・源泉)及び確認テストを復習する。	(約2.0h)

28. ミニテスト及び解答の確認・説明
前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストをすると共に考え方や解答の確認をします。

予習:	経済成長理論の種類・源泉について予習する。	(約2.0h)
復習:	ミニテスト及び解答について復習する。	(約2.0h)

29. オープン・マクロ経済
国際収支、資本収支と経常収支の関係、為替レート等について学びます。

予習:	オープン・マクロ経済について予習する。	(約2.0h)
復習:	配布したプリント内容(オープン・マクロ経済)を復習する。	(約2.0h)

30. まとめ
これまでの授業のまとめをします。

予習:	マクロ経済学全項目について予習をする。	(約2.0h)
復習:	授業で行ったマクロ経済学全体について復習をする。	(約2.0h)

31. 期末試験
試験時間は60分で、計算問題を必ず1つは出題します。

予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)

32.

予習:		
復習:		